

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12239

常設展示室整備事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	常設展示室整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	前田 敬彦 423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	常設展示の計画的な展示替えを行うとともにコーナー展示を行い多くの館蔵品を市民に公開する。		常設展示室の展示替えを適時行い、新しい資料を公開する。			
事業内容	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	
	年数回の展示替えを行い、大型資料等の撮影等を行う。	年数回の展示替えを行う。	年数回の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、缶マグネットの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年20回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、缶マグネットの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	年20回程度の展示替えを行う。館の魅力を増加させ、市民に関心を持ってもらうため、缶マグネットの発行やぬり絵の作成・無料配布を行う。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	55	51	6	6	129	129	250	0	250	0	
伸び率(%)	0%	△7.3%	△89.1%	△88.2%	2,050%	2,050%	93.8%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	3,424	876	1,242	621	3,142	1,571	1,945	0	1,945	0
	正規職員以外	823	1,719	1,610	897	257	514	514	0	514	0
	小計	4,247	2,595	2,852	1,518	3,399	2,085	2,459	0	2,459	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	20	51	6	6	129	129	250	0	250	0	
所要人数(人)	正規職員	0.43	0.11	0.16	0.08	0.42	0.21	0.26	0.00	0.26	0.00
	正規職員以外	0.20	0.48	0.48	0.24	0.05	0.10	0.10	0.00	0.10	0.00
主な予算内訳	所々修繕料119千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	コーナー展示と常設展示の展示入替の回数	回	10	15	15	18	20
			15	15	18		
			150%	100%	120%	%	%
成果指標	常設展の入館者数	人	2824	4000	4000	4000	4000
			3857	1446	2152		
			136.6%	36.2%	53.8%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	常設展示室では、テーマをもたせて定期的に展示資料を入れ替えるコーナー展示など、展示にメリハリをつけている。コーナー展示以外にも常設展示資料の入れ替えを積極的に行うとともに、各時代の説明文の多言語化 (中国語・韓国語・英語) を実施するなど入館者数の増加に努めている。また、缶マグネットの発行やぬり絵の配布で、より多くの市民に関心を持ってもらえるよう取り組んでいる。
見直し・改善内容	今後も常設展示室内の展示内容の更新を積極的に実施し、様々な方法でリピーターを獲得し、入館者数の増加につなげていく必要がある。